



みやまりんどう



令和7年2月25日発行

学校通信 第11号

北海道上川高等学校

W i l l (やりたいこと) C a n (できること) M u s t (やるべきこと)

校長 近藤 伸

今年度も残り1か月となります。生徒達はこの1年間の自分自身の成長を実感しつつ、「やり残したことはないか?」と自分自身に問いかけていると思います。教職員一同で生徒一人ひとりの伴走者となり応援していきます。

毎年、教職員・生徒・保護者・学校関係者(「以下:四者」)それぞれの視点から学校の取組に対して「学校評価アンケート」を実施しています。年度の目標に対して、実際にどのようなことができたか。改善すべき点は何か。PDCAサイクルを循環させることで、学校の教育活動を点検しています。

「学校評価アンケートまとめ」をご覧ください



PDCAサイクル

学校評価アンケート結果を見ると、「生徒の考え方」「おとな(教職員・保護者・学校関係者)の考え方」に乖離した点があり、次年度の課題として対応していきます。

▲「四者の目」から見た共通して高い評価の項目▲

- ・地域の教育的資源を活用した特色ある教育活動を地域と連携して実践した。
- ・生徒一人ひとりと「対話」を重視した教育相談の実施。
- ・自然災害等に備えた事故防止策

高次な取組

▲「生徒の目」から見た評価と「おとなの目」から見た評価が乖離している項目▲

- ・規範意識・情報モラル 生徒は高いが「おとな」は低い
- ・生徒の主体性や自主性の育成 生徒は高いが「おとな」は低い

もっとできる成長を見守る

▲「教職員の目」から見た低い評価の項目▲

- ・キャリア教育の推進・進路実現支援 まだまだ改善の余地がある
- ・生徒の自主性・主体性の育成 生徒自身の主体的な行動
- ・教科横断的な取組 探究力の育成

問題意識共有

このような学校評価アンケート結果から、次年度の準備を進めていきます。生徒の成長を止めない。生徒自身が主体的に取り組むことができる仕掛け。生徒のモチベーションをいかに引き出すか。上川高校は教職員全体で取り組む高校です。生徒のW i l l (やりたいこと)・生徒のC a n (できること)・生徒のM u s t (やるべきこと)を引き出していきます。そして生徒自身が主体的に自分で考え、高校生活で「やりたいことは何か」「できることは何か」「やるべきことは何か」を明確にして取り組んで欲しいと切に願います。ガンバレ!! 上高生!!

これができたらまだまだ上高生は成長できます!! ご協力をお願いします!

- | | |
|-----------------------|--------------------|
| 朝起きて | (毎日継続) |
| 昼は上高 | (授業に集中) |
| 放課後 部活 | (高い目標設定) |
| 家に帰って F r e e T i m e | (時間の管理・自己管理) |
| 明日も学校 | (WILL・CAN・MUSTの確認) |
| 夜中は寝る | (健康管理) |

令和6年(2024年)度 学校評価アンケート まとめ

点数換算：A=4点、B=3点、C=2点、D=1点 最高点：4 最低点：1 中間点：2.5

	中間目標	重点事項	評価の観点	教職員	生徒	外部
重点目標	地域に開かれた教育活動の推進	地域性を生かした外部連携を軸とした魅力ある教育活動の充実による「選ばれる学校」づくりと効果的広報活動	学校評価（保護者・第三者・生徒）及び出願者数に結び付けられるか	3.09	-	3.50
	地域と連携した進路指導	連携型中高一貫教育を軸とした大雪の自然や地域の教育的資源（人的・物的）の活用	生徒が主体的に考えて行動し、地域と連携したキャリア教育の充実が図られたか。	2.91	-	2.88
	教職員の協働体制確立	心理的安全性を軸とした心身共に健康で働ける労働環境と協働性・組織性が機能する職場づくり	授業の準備や生徒と向き合う時間を確保できたか。 時間外勤務の前年比が改善されたか。	2.73 2.82	-	-
学習指導	生徒の基礎学力の定着	基礎的・基本的な知識や技能を確実に習得させる指導の充実。	習得した知識・技能の質や量が、各教科のシラバスに照らして十分だったか。	2.82	3.26	2.83
	生徒が主体的に学ぶ意欲の向上	「主体的・対話的で深い学び」「学びの個別最適化」を踏まえ、観点別評価による「指導と評価の一体化」を具現化する授業改善。	学習指導要領を踏まえた指導計画に基づく実践であり、授業評価や学校評価に結びついたか。（校内研修の実施）	2.91	2.86	2.83
	ICTの活用と学習評価の工夫	ICTを効果的に活用した学習活動の研究を進め、情報活用力・課題発見・課題解決力の育成を目指す。	教科・科目、総合的な探究の時間においてICTを効果的に活用できたか。 ICT環境整備の予算確保ができたか。	3.09 2.73	3.32	-
	特色ある教育活動の工夫・改善	総合的な探究の時間（大雪基礎）を軸とした教育課程と地域の教育的資源（人的・物的）を活用した特色ある教育活動を地域と連携して実践。	地域的資源（人的・物的）を活用できたか。 中高一貫教育の取組を推進できたか。	3.45 2.45	3.36	3.50 -
生徒指導	他者理解と思いやりの心の育成	異年齢交流や地域の人々との交流により、自己と他者を思いやることのできる態度の育成を図る。教員と生徒相互の信頼に基づく教育相談の充実を図る。	自他を認め合い、よりよい人間関係の構築と生徒一人ひとりと「対話」を重視した教育相談が実施できたか。	3.09	3.32	3.25
	規範意識・公共精神の育成	挨拶・時間・マナーの意識醸成や情報モラルへの理解を深め、学校生活を安心・安全に送る態度を育む。	特別指導案件、遅刻、SNSトラブルなど未然防止が実施できたか。	2.82	3.34	2.71
	生徒の自主性・主体性の育成	学校生活のルール作りに生徒が主体的に参画することにより、自主自立の精神を育む。生徒会活動や部活動を通して生徒の主体性を育成する。	校則や制服の見直しに生徒自身が主体的な関わりができたか。	2.09	3.06	-
進路指導	進路実現の系統的支援	三年間を見通した系統的な指導により、自己の進路目標について思慮し、学年に応じた進路意識付けを明確にする。	中学校と連携した系統的かつタイムリーな指導であったか。	2.09	3.10	2.86
	キャリア教育の推進	生徒及び保護者に対し、進路情報の発信を適切に進めて主体的な在り方生き方に繋がるガイダンス機能を一層充実させる。	生徒や保護者が必要とする進路情報を収集し、提供することができたか。	2.45	3.20	3.00
	資格取得の推進	生徒個々の進路目標を表現するための組織的サポート体制、相談体制を確立し、資格取得や講習を推進する。	分掌や学年の枠を超えて全校的なサポート体制であったか。	2.82	2.70	3.00
健康安全指導	多様性の尊重と健康増進	生徒の心身の状況を的確に把握し、心の悩みの早期対応と教育相談の組織的支援体制を構築する。	生徒の状態把握が適切に行われ、SCや関係機関と連携した支援が行われたか。	3.00	2.86	3.20
	環境整備	校舎内外の環境美化・環境衛生意識の向上を養い公共心を高める。	心理的安全性を担保するため、清潔で安全な明るい環境整備を行い、生徒の意識啓発が行われたか。	2.73	3.12	3.14
	危機管理体制の点検・見直し	自然災害等に備える意識醸成及び教育活動における事故防止等の安全対策を徹底する。	教育活動における事故防止策が、危機管理マニュアルや熱中症防止マニュアルに基づいて行われたか。	3.09	3.12	3.29
探究活動	課題解決力の育成	生徒の主体性の元で、「課題設定・調査・考察・分析・アウトプット」のサイクルに基づいた探究活動を推進する。	生徒の課題を解決するための思考力・判断力を養う探究活動が推進できたか。	2.91	3.10	3.13
	教科横断的な取組	各教科・科目における日常の授業や特別活動・行事においても探究力を養う取組を積極的に取り入れる。	様々な教育活動の中で探究力の育成を意識した取組が見られたか。	2.64	3.04	-

※学校評価アンケートに係る主な教育活動、評価と改善のまとめを裏面に掲載しています。

令和6年度 上川高校の主な教育活動一覧

学校行事	地域連携・探究学習	キャリア教育・進路指導
上高祭（7月）	活動報告会（12月）	学習コーチング（4～7月）
球技大会（12月）	郷土理解野外活動（7月）	3年生進路講話（1月）
1年宿泊研修（6月）	カミコーどうでしょう（4・5月）	1年進路啓発学習・旭川(高大連携)
1年海外派遣研修（9月）	1年町内施設見学（4月）	1年進路啓発学習・小樽(高大連携)
2年見学旅行（10月）	1年水質調査学習（6月）	2年インターンシップ
スクールカウンセリング（月1回）	1年カルタづくり（7月）	3年ハローワークカウンセリング
定期考査	1年林業体験学習（10月）	3年ハローワーク就職ガイダンス
考査対策指導（各2日）	1年自然環境学習「山岳ガイド講話」	3年スーツ着こなし講座
前期中間考査（5月）	2年学校ポスター制作（4・5月）	3年労働教育啓発学習
前期期末考査（9月）	2年地域活性PBL（9月～）	講習会・検定
後期中間考査（11月）	3年未来志向ワーク（1月）	夏期進学講習会（6日間）
後期期末考査（2月）	1・3リスティング事業連携学習（10～12月）	冬期進学講習会（7日間）
健康安全学習	1・2年自然環境学習「環境省講話」（1月）	春期進学講習会（3日間）
交通安全教室（4月）	2・3年ボッチャ講習会（11月）	全商ビジネス文書検定（1級合格）
避難訓練（9月）	地域交流・ボランティア	全商ビジネス計算検定（1級合格）
薬物乱用防止教室（9月）	石狩川クリーン作戦（8月）	英語技能検定（準2級合格）
健康講演会（12月）	上川町ふる里まつり（8月）	外部講師連携学習
防災学習（2月）	シャトルバスネイチャーガイド（9月）	体育ダンス授業（11月）
	JR花めぐり（11月）	英語科特別授業（1月）
	かみかわ未来フェス（12月）	

今年度の活動評価と来年度に向けた改善事項の一覧

評価項目	自己評価	改善方策
教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 授業に取り組む姿勢に改善の余地があるとともに授業の工夫が必要。 主体的に学ぶ意欲の喚起が必要。 不登校傾向生徒に配信授業ができる環境整備が必要。 中高一貫教育の活動改善が必要。 各教科でICTを活用した授業ができた。 地域と連携した教育活動を実践できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業規律について教師と生徒で目線合わせと実行、見逃さずに指導する。 教師間で「授業と評価の一体化」の目線を合わせて公開授業と校内研修を実施する。 総合的な探究の時間の3年ロードマップと各年次における年間計画作成して実施する。 D×ハイスクール事業に参入する。 中高連携教育の抜本的な見直しと改編。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> 指導案件は少ないが、生徒の規範意識を高める必要がある。 学校生活に気持ちが向かない生徒対応が課題。 生徒の主体的な活動を引き出すための仕掛けと工夫が必要。 地域の人々との交流によりコミュニケーション能力が高まっている。 地域資源を有効活用できている。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育の強化、挨拶、時間、マナーの重要性を説き続ける。 随時、教育相談を実施できる環境整備と支援体制を強化する。 生徒が自ら考え、企画行動する生徒会活動を実施する。 学校生活における服装と身嗜みを検討する。
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> 3年間を見通した進路指導の展開が必要。 進路情報の発信が不十分。 資格・検定受検者と合格者が少ない。 インターンシップが職業観や勤労観の醸成に大きな効果があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 進路指導におけるロードマップを作成する。 「産業社会と人間」の各年次における年間計画を作成して実施する。 ポートフォリオ機能を整備して、活用の足掛かりを作る。 進路だよりを定期的に発行し、学年別進路集会を開催する。 検定試験受検者の増加にむけた啓発と情報提供、試験対策を実施する。
健康安全 指導	<ul style="list-style-type: none"> 心理的要因による不調を抱える生徒に対する組織的な教育相談体制の強化が必要。 持続的な教室内の環境整備（清掃活動と個々の整理整頓）指導が必要。 危機管理（防災）および熱中症防止マニュアルを整備できた。 	<ul style="list-style-type: none"> 不登校（傾向）生徒への早期対応体制の整備およびマニュアルを作成する。 環境整備に係る定期目標の設定やイベントを開催する（〇〇月間や週間など） 校舎内外と管理マニュアルを随時点検し、整備・改善を継続していく。
探究活動	<ul style="list-style-type: none"> インプットしたものを考察・分析してアウトプット（表現）する力を育成するために教師の指導力向上が必要。 探究サイクルを活用した活動（授業）を増やす必要がある。 生徒が主体的に問いを立てて、解決しようとする取り組みや仕掛けが必要。 	<ul style="list-style-type: none"> 生徒自身が問題を発見し、課題を設定できる指導に関する研修 生徒同士で協議しながら解決策を導き出す、協働的な活動を組み込んだ授業を展開する。 各教科の横断的な授業の企画と実施する。 学校および教師が主体者となって地域資源（ひと・もの）を活用する体制を強化する。

【今月の地域協働学習】 2/14 (金) 5校時 「ガイドの基礎技術」

カミコー教育の特色である「地域協働学習」。今回は上川町の資源である「自然」をテーマに1年生が学びました。

来校して下さったのは、東川町の「山岳舎BEAR」で山岳ガイドをされている土栄拓真さん。ガイド歴24年で大雪山を中心に道内・道外の夏山から冬のスノーシューまで幅広く活動されており、今まで撮ってきた20万枚の自然写真から選りすぐりの100枚を披露、大雪山の魅力を紹介していただきました。



その後、自然ガイドとして大切にしていること、お客様に案内するときには心掛けていることとお話しして下さり、生徒たちは、人として社会で生きていくためのヒントを得たようでした。最後に「高校時代にもっと勉強しておけばよかった〜。」とのメッセージ。毎日当たり前のように行われている授業には意味があることを受け取れているといいですね。

3月		
日	曜	行事
1	土	卒業式
2	日	第3回英語検定(2次)
3	月	
4	火	入学者選抜(学力検査)
5	水	入学者選抜(面接)
6	木	単票提出・一覧表提出
7	金	振替休日(3/2)
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	入学者選抜(追検査)
12	水	
13	木	進級認定会議・職員会議
14	金	P T A運営委員会
15	土	
16	日	
17	月	合格発表
18	火	
19	水	
20	木	春分の日
21	金	
22	土	
23	日	
24	月	修了式・離任式
25	火	学年末休業
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

【上川高校の情報発信について】

先月もお知らせしましたが、インターネットを通じてカミコーの様子を発信しています。現在は「**学校ホームページ**」と「**公式Note**」のみですが、4月からは「**Instagram**」と「**YouTube**」でも情報を発信できるように準備中です。下のQRコードをスマートフォンで読み取るとすぐに見ることができるのでお試し下さい。

今後もカミコーの特色ある活動や生徒たちの様子を随時更新するので、ぜひともご覧下さい！



▲学校ホームページ



▲公式Note



2月のカミコーギャラリー

